

教育指導課便り

～つながり合い、共に学びをはぐくむために～

函館市教育委員会
学校教育部教育指導課
平成24年9月14日発行
VOL. 7

第1回学校評議員研修会報告

8月24日(金)18時より、函館市南北海道教育センターで開催され、25名の学校評議員が参加しました。指導課長より『学校評議員制度について』説明があった後、函館市立千代ヶ岱小学校長 花田 譲氏より「学校評議員の意見を生かした学校経営」と題し、町会と中部高校と連携した避難訓練の取組や、学力を高める地域との連携の取組等について発表いただきました。グループ別協議では、4グループに分かれ、地域の子どもの安全に関わる情報などの交流を行いました。



第1回小・中学生指導研究協議会報告

8月28日(火)13時30分より、南北海道教育センターにて開催されました。

前半の説明では、いじめ、不登校の対応について、また、グループ協議では、各校の生徒指導上の課題をもとに熱心な協議が行われました。1月実施予定の第2回会議では、2学期以降の各校におけるいじめ、不登校の取組とその成果についての交流および、事例研修を行う予定です。

いじめ、不登校の対応の説明時に使用した資料につきましては、各校にデータで送付しておりますので、研修等でご活用ください。



第1回教育課程担当者研究協議会報告

去る8月31日(金)第1回教育課程担当者研究協議会を開催しました。

今年度の協議会では「アプローチの視点に基づいた、「組織的」で「つながり」(学びの連続性・学校内外の連携)をもった取組がなされているか」「教育課程を具体的な指標をもって検証しているか」の2点を柱に、教育指導課からの説明やグループ協議を行いました。また、教育課程の検証方法については、中島小学校の一戸教頭、万年橋小学校の風間教諭に自校の取組を発表していただきました。

コラム：防災教育(①)

避難訓練は、災害発生時に児童生徒等が常に安全に避難できる、実践的な態度や能力を養うことを目指して行われるよう、次のような点に留意する必要があります。

○「揺れたら」(初期対応の訓練)

「上からものが落ちてこない」「横からものが倒れてこない」「ものが移動してこない」場所に、教師の指示を待たずに児童生徒自らが判断し行動できるよう繰り返し訓練することが大切です。

○「揺れが収まったら」(二次対応の訓練)

各学校で考えられる二次災害を洗い出し、その対応に応じた訓練が必要です。

『学校防災マニュアル(地震・津波災害)作成の手引きより』

コラム：自主公開研究会、地域公開実践について

本年度の自主公開研究会、地域公開実践につきまして、指導課にもご案内をいただいております。

平成24年度アプローチに記載しましたように、研究会や実践を通して、「自校で実現を目指す『確かな学び』の具体的な要素や、そのための方策を明確に示し、理解や協力を得たり、連携を図る。」ことができればと考えております。

今後のご案内をいただけますと幸いです。どうぞよろしくお願いいたします。

「笑顔キラリ! わたしたちの宝物」について

～園・学校・研究サークル取組紹介～

第1回目の募集にかかわらず、多数のご応募をいただきましてありがとうございました。

8月下旬までは、次の学校の取組を紹介させていただきました。

(港小、千代田小、桔梗小、亀田小、白尻小、戸倉中、北中、日新中、尾札部中)

9月以降は、次の学校及び研究サークルの取組を紹介させていただきます。

(万年橋小、金堀小、日吉が丘小、北昭和、昭和小、中央小、北美原小、南本通小、大船小、西中、銭亀沢中、恵山中、小学校体育研究会)

第2回目の募集まで期間はありますが、継続して受け付けておりますので、ご応募いただいても結構です。

※ 掲示板専用の蛍光灯が設置されましたので、来庁の際には是非、ご覧ください。